

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	関係課
施策名	文化財
施策コード	5-3-1

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり
	小政策	個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	<p>本市に残され、継承されている文化財は、歴史や風土を知るうえで欠かせないものであると同時に、新たな発展の素材となり得る財産です。そして、緑豊かな田園や里山、生活の風景は、本市の魅力となっています。しかしながら、継承する地域における高齢化や財政的な問題から、後世へ継承していくことが困難な状況にあります。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市が誇る有形文化財にも、著しい被害が発生し、修復には時間と技術を要する状況にあります。</p> <p>本市では、文化財の調査、研究を実施しながら、年次的に文化財の指定を行うとともに、資料館における展示や環境整備を進めてきました。また、開発によって貴重な文化財を損失することがないように、適切な埋蔵文化財保護体制の確立に努め、平成23年には、郷土意識の高揚を図るため、合併後初となる新笠間市史を発刊しました。</p> <p>今後は、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえでも、その基礎となる本市の有形・無形文化財について、関係機関と連携し適切な保護・活用を図りながら、情報発信にも力を入れていく必要があります。</p>	
施策目標	市の魅力向上や今後の地域づくりに資する資源として、地域との協力のもと、さまざまな機会を通じた情報発信や関係機関との連携を図りながら、専門性や承継体制を確立し、歴史的・文化的資源の保全と活用を推進します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	地元で管理している文化財を次の世代に引き継いだ時に管理をしてもらえるのか。
-------------	---------------------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
歴史的・文化的資源が有効に活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	38.160	34.230	31.120	29.600	29.920	0.000
	加重平均値	2.334	2.298	2.330	2.192	2.223	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度	79.220	80.120	82.540	80.740	80.740	0.000
	加重平均値	3.226	3.158	3.220	3.227	0.000	

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
資料館の入場者数 (笠間市立歴史民俗資料館)	目標値	人		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値	人	1,575	1,296	1,460	1,579	1,461	0
	達成度	%		108	121.7	131.58	121.75	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値			0	0	0	0	0
	実績値		0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	歴史的・文化的資源の保全と活用が図られているか、歴史的・文化的資料を展示している歴史民俗資料館の入場者数とした。
	目標値設定の考え方	歴史民俗資料館の入場者数拡大を目指し、年間入場者数を10人増とした。

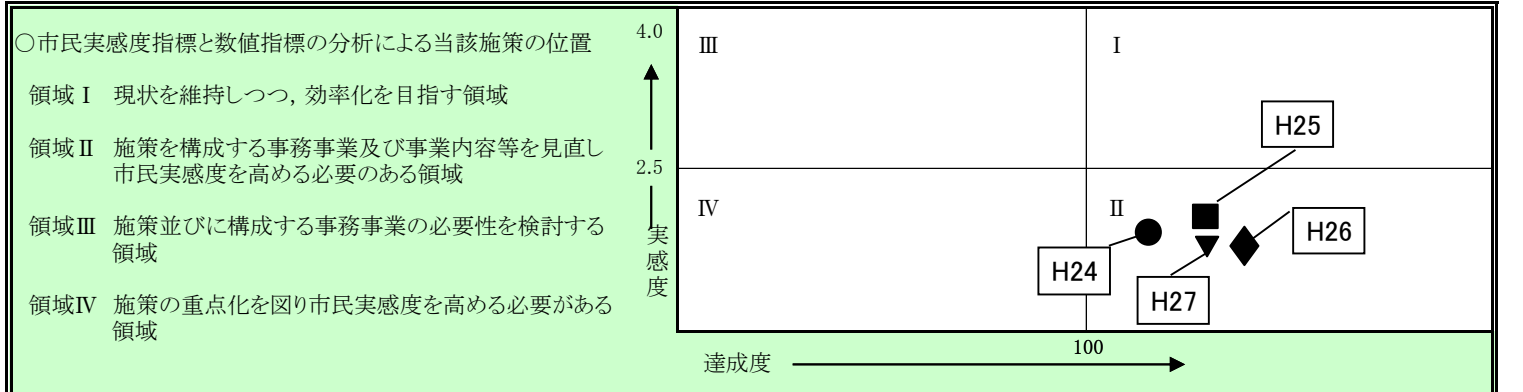
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民一人ひとりが文化財保護の意識を持ち、地域や団体で協力しながら保護し、後世に継承していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 文化財の維持管理を適切に行い、文化財の展示や情報の発信により保護・継承に努める。

3 平成27年度の実績

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した史料の整理・保存を進め、笠間図書館、友部公民館で展示して活用を図った。 指定文化財を管理する所有者等に補助金を交付し、文化財の保護に努めた。 笠間城跡の調査保存のため、地形測量、古文書、植生調査と樹木伐採を行った。 歴史フォーラムを開催し、平成26年度の石垣に関する調査及び応急処置について報告を行った。 開発に伴う埋蔵文化財の照会業務、現地調査及び試掘(28件)を行い、埋蔵文化財の保護に努めた。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <p>市内に残る貴重な文化財の保存・活用を行うことができた。また、事業の実施等を通じ、市民が身近な地域の歴史や文化を学び、文化財保護の意識醸成が図れた。</p>
-------	---

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か</p> <p>文化財の保護及び調査、情報発信に関する事業であり、歴史的・文化的資源の保全と活用には必要な事業であり、妥当と思われる。</p>
------------	---

残された課題	<p>平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <p>現在郷土資料館に保管している発掘された遺物を旧箱田小学校に移管する。埋蔵文化財の保全については、開発の際に保存措置が法的に求められる現状で、市民の関与が限定的であるため、関心が薄い。笠間城跡の調査保存をするために、関係機関との調整を行うとともに、市民への情報提供が必要である。</p>
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成29年度に向けた施策方針</p> <p>歴史的・文化的資源の保全と活用を図り、後世に継承していくために、歴史資料の収集・整理を進め、広報活動や情報発信により文化財・埋蔵文化財の保護に努める。</p>
------	--

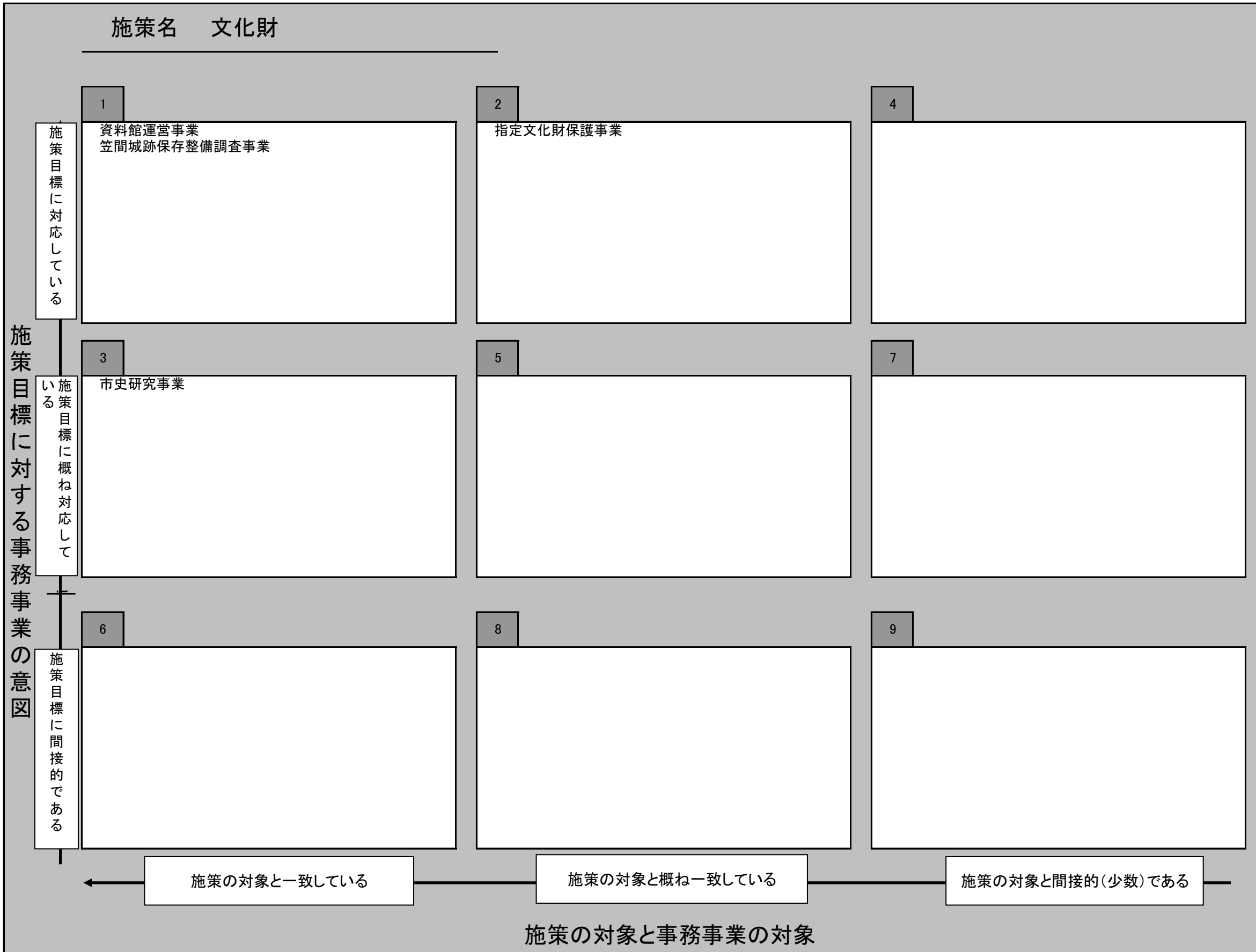
シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 文化財

		事業費合計			平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均						
					13,107	16,548	27,045	56,700	18,900						
施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価			
			成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度	
1	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財は、地域の歴史と文化に根ざした歴史遺産である。その埋蔵文化財を保護するため、埋蔵文化財包蔵地を把握し、開発事業に対して現地確認や試掘調査・発掘調査を実施する。	101 義務的事業	埋蔵文化財保護件数	件	10	25	28	国補助	837	1,271	5,060	03 埋蔵文化財保護体制の確立	生涯学習課	義務的事業
2	(廃止)文化財保護基金事業	文化財保護基金を適正に管理することにより、市民の財産である文化財の保存と活用を図る。基金の原資は、故長谷川保氏の篤志寄附。H27年度には、原資がなくなるため、基金を廃止する。	103 内部管理事務	文化財保護基金残高	円	716,013	559,663	0		0	0	0	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	
3	資料館運営事業	歴史資料・民俗資料等の収集、保存、活用により市民の歴史研究の一助とするとともに貴重な資料を将来に向けて継承していく。	105 維持管理事業	入館者数	人	1,460	1,579	1,400	市単独	5,899	1,973	2,198	02 資料館等の整備・充実	生涯学習課	1
4	(廃止)文化財支援事業	東日本大震災により被災し、多くの指定文化財が損壊したため、修復費用の一部を支援し、早急な文化財の修復を目的として補助金を交付する。	106 政策的事業	文化財修復数	件	4	1	0	市単独	685	79	0	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	
5	文化財活用事業	市内には多数の貴重な指定文化財がある。(国指定8、県指定20、市指定118)しかし、彫刻・工芸品・書籍等の文化財は、普段屋内に保管されており、一般の方が目にする機会がない状況にあるため、文化財管理者の協力を得て、公開日を定め特別に公開することにより、文化財への関心を高めるとともに、笠間を知り学ぶ機会を提供する。公開にあたっては、茨城大学・ふるさと案内人等の協力を得て、来場者への対応を行っていく。	106 政策的事業	入場者数	入場者数	0	0	0	国補助	0	0	0	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	
6	市史研究事業	笠間市の歴史を後世に継承し、郷土意識の高揚を図るため、笠間市の歴史に関する史料を収集・整理して、収集した史料の保存・活用、市史の研究に努める。	106 政策的事業	歴史資料数	点	0	0	0	市単独	1,312	1,113	1,119	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	5
7	指定文化財保護事業	笠間市に残る文化財の保存・活用を図り後世に継承していくために、文化財の重要事項について笠間市文化財保護審議会で調査・審議し、維持・管理について各消防署と連携して文化財防火デーに合わせて立入検査を実施する。また、指定文化財の修復・維持管理に係る経費に対して一部補助金を交付する。	106 政策的事業	修復等件数	件	3	4	4	市単独	540	932	1,989	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	3
8	笠間城跡保存整備調査事業	笠間城は、現在に至るまで本格的な調査がおこなわれたことがなかったため、考古学、歴史学などの学術関係者とともに調査を進め、市指定部分だけでなく下屋敷などを含めた近世城、中世城、寺院郡跡の全容を明らかにし、地域全体の保存を図るとともに、県史跡、国史跡の指定を目指す。	106 政策的事業	報告書印刷数	冊	300	20	0	国補助	3,834	11,180	16,679	01 文化財の保護と活用	生涯学習課	2

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

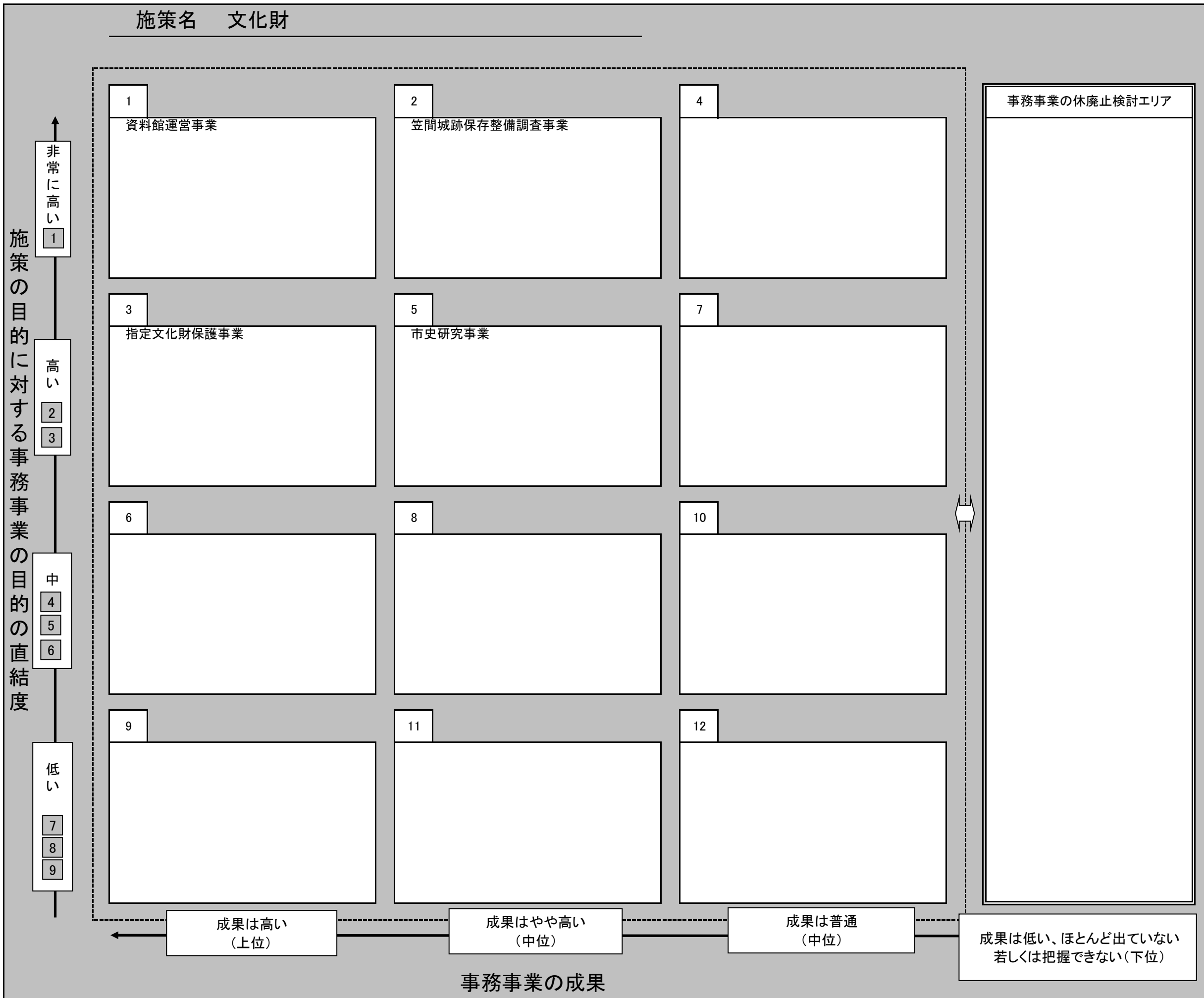
施策名 文化財



義務的事業, 内部事務事業
埋蔵文化財保護事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 文化財



事務事業の休廃止検討エリア

義務的事業, 内部事務事業
埋蔵文化財保護事業

事務事業の成果基準の説明